

“チャオ” 御岳スノーリゾート 12/3 Open 現在積雪 50 cm イーストコースト 2,120m 全面滑走可能です。
問題山積、重さばかりがズシ。Positive 思考と行動でと努めながら、四苦八苦。

ここ半年余り「榛原総合病院の存続問題」が住民にとって大問題となっておりますが、経営母体を換える話を二転三転させ、さらなる 12 月の追加負担で、借金を最大限に膨らまし、閉鎖寸前の状況です。

多くの有識者が、榛原総合病院の問題をはじめ榛南の行政に、呆れ果て、何も語らなくなりました。私はそうなるまいと思いきや、あまりにもダメージが大きく強くなり、思考停止状態。康寿診報も 2 カ月お休みしてしまいました。

12/5 の静岡新聞 P25「榛原総合病院 民営化遅延に『仰天』」の見出しで、「晴天の霹靂。...」「何も(文書で)決まっていな^い中で経過について話せば、住民の不安を増幅させる。」「町にとって病院は 2 次救急のとりで。...」(裏面参照)、私は 愕き 嘆きました。

吉田町町長 田村典彦氏、過去数年にわたり 正確な情報を伝えていないのはトップの責方であり、住民に説明責任がある。かなり推敲した内容であろうが、“言葉の使い方”が正しくない。公平な報道とは程遠く、静岡新聞社は責任転換の手段として使われ、田村氏のコントロールの元に文面がある。

ただし「何も(文書で)決まっていな^い」と、徳州会と交渉になっていない現実を告げ、すべての責任を転換する手口さぐり、これを書面の中で示している。私はこう分析し、口を挿めば責任転換の矛先にされ、誰も何も出来ない。

政治が混沌とした中で、既に「急性期の命を救える病院の無い地区」という現実がおとずれた。年始には「榛原病院閉鎖」という事態が全国に知られることになる。この悲劇の中、徳州会を受け入れる いや受けて戴くのであれば、更なる覚悟が必要となる。徳州会の立場、自分が彼らの立場であればどのように振る舞うかを考えてみると、片思いされ迷惑であろう。当然であるが、半年余りの時を経て、職員ゼロの空っぽになった榛原病院、この状態で手を付けるか吟味する程度であろう。産婦人科に特化された病院となるのであろうか？ でなければ、建物すらも無駄な産物となる。

私は 昨日(12/10)、9/25 以来 久しぶりに田村典彦氏に手紙を書き、榛原医師会の吉田町担当者としてお願いをした。冷静に受け止め、行動し、まずは我々医師団 そして私のアポイントを受け入れて頂きたい。“無力” “無念”を思い知り、現実を知った上で、冷静に見届け、後退しない。その中で今の行動がある。気概と危機感を同時に持ち、榛南地区 吉田町で開業する医師として 行動する。

Jリーグ ジュビロ磐田、中山雅史 ゴン中山は、11/28 サッポロ広島戦 ヤマハスタジアム 後半 37 分、いつものように左右の拳で胸を叩きピッチに入った。永劫不滅の“雄姿”をサポーターに焼き付けた。42 歳「『まだピッチを走る』“現役第二幕”宣言」誰も止めることは出来ない。最後に「ジュビロとやる時は本気になっていいかな！」と笑った。

師走の中、締め新时期、康寿診報 145 号 送らせて頂きます。 敬具

平成 21 年 12 月 11 日 加藤寿夫

ホームページが新しくなりました。<http://www.katoiin.jp> ぜひご覧ください。